

沿革

- 1991年4月 学校法人山田学園を設立
- 1998年4月 法人名を「学校法人朝日専修学園」に改組
- 2001年4月 「朝日医療技術専門学校」を岡山市北区伊福町に開設
柔道整復学科に昼間部／夜間部を設置
- 2002年4月 「朝日医療技術専門学校」鍼灸学科に夜間部を設置
- 2005年4月 「朝日リハビリテーション専門学校」を岡山市北区桑田町に開設
理学療法学科に夜間部を設置
- 2006年4月 「朝日医療技術専門学校」鍼灸学科に昼間部を設置
「朝日リハビリテーション専門学校」理学療法学科に昼間部を設置
- 2008年4月 「朝日医療専門学校広島校」を広島市西区己斐本町に開設
柔道整復学科に昼間部、夜間部を設置、鍼灸学科に夜間部を設置
- 2008年4月 岡山校の校名を「朝日医療技術専門学校」から「朝日医療専門学校岡山校」
法人名も「学校法人朝日専修学園」から「学校法人朝日医療学園」に変更
- 2009年1月 岡山市北区絵図町に「朝日医療専門学校岡山校」の校舎を移転
- 2009年4月 「朝日医療専門学校広島校」鍼灸学科昼間部を設置
- 2013年4月 学校法人進研学園との合併により、同法人の事業「朝日高等歯科衛生専門学校」を
承継する
- 2015年4月 「朝日医療専門学校岡山校」言語聴覚学科に昼間部を設置
- 2016年4月 岡山市北区奉還町に岡山3校「朝日医療専門学校岡山校」「朝日リハビリテーション
専門学校」「朝日高等歯科専門学校」を統合し、「朝日医療大学校」改称
- 2017年4月 「朝日医療大学校」看護学科に昼間部を設置
- 2019年4月 「朝日医療専門学校広島校」学科編成変更
- ・柔道整復学科、鍼灸学科の各夜間部を昼間部（午前コース）に変更
 - ・柔道整復学科、鍼灸学科の各昼間部を昼間部（午後コース）に変更

「朝日医療大学校」言語聴覚学科2年過程を3年過程に変更

2021年4月 「朝日医療大学校」にて学科編成変更

・柔道整復学科、鍼灸学科の各昼間部・各夜間部を午前コース・午後コースに変更

教育理念・人材育成像

人命の尊さと人の尊厳を重んじることを基本とし、豊かな人間性の涵養を図るとともに、保健・医療・福祉に関する専門的な知識・技術を追求、地域社会において広く活躍できる人材を育成する。

教育目標

- ①生命の尊さと人の尊厳を重んじることを基本とし、人間の痛みや苦しみを分かち合える豊かな人間性を養う。
- ②専門的知識・技術に基づき、疾病の治療から身体機能の回復、維持・向上を図り、社会復帰や社会参加を目指す人々を支援する能力を修得する。
- ③広い視野を持ち、保健医療システムの中で医師や他の保健医療従事者と連携しつつ、自らの役割と責任を担う心構えを身につける。
- ④科学的、合理的なものの見方や考え方を習得するとともに、自主・自立・自律の精神に富んだ主体的な判断を培う。

授業カリキュラム

① 鍼灸学科昼間部（午前コース）及び、鍼灸学科昼間部（午後コース）

| 学年 | 専門分野 | 専門基礎分野 | 基礎分野 |
|---|--|---|---|
| 1年次 1年次は土台作りの年です。自然科学などの基礎分野や専門基礎分野の解剖学や生理学で西洋医学の基礎知識を身につけるとともに、専門分野の経絡経穴概論・東洋医学概論なども学びます。 | ・東洋医学概論Ⅰ ・経絡経穴概論 ・鍼灸入門実習 ・鍼基礎実習 ・灸基礎実習 ・臨床実習Ⅰ ・臨床実習Ⅱ | ・解剖学Ⅰ ・解剖学Ⅱ ・解剖学Ⅲ ・生理学Ⅰ ・生理学Ⅱ ・医療概論 | ・自然科学Ⅰ |
| 2年次 2年次は座学授業が中心の1年次より実習・実技の時間が増え、質と内容もより実践的なものになっていきます。「臨床実習」も学内だ | ・鍼灸理論 ・東洋医学概論Ⅱ ・鍼灸診察概論 ・鍼灸臨床論Ⅰ ・体表観察実習 ・鍼灸診察実習 | ・病理学概論 ・臨床医学総論 ・臨床医学各論Ⅰ ・リハビリテーション医学 ・運動学 | ・自然科学Ⅱ ・自然科学Ⅲ ・人文科学Ⅰ※ ・人文科学Ⅱ※ ・社会科学※ ※印は通信過程 |

| | | | |
|---|---|---|--------|
| けではなく、鍼灸院・鍼灸接(整)骨院など鍼灸施術を中心とした場所やスポーツの現場などで実践を想定し実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現代鍼灸実習 ・東洋医学実習 ・臨床実習Ⅲ | | による単位制 |
| <p>3年次</p> <p>3年次は「国家試験対策」も本格的に始まり、本番を想定した模擬試験を定期的実施し、学生一人ひとりの苦手分野や科目を細かく分析します。また、卒業後働く上で必要な法知識も学び、卒業後に即戦力となる技術と知識を深めていきます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・病態生理学 ・鍼灸臨床論Ⅱ ・東洋医学臨床論 ・社会鍼灸学 ・鍼灸応用実習Ⅰ ・鍼灸応用実習Ⅱ ・臨床実習Ⅳ ・鍼灸総合演習Ⅰ ・鍼灸総合演習Ⅱ | <ul style="list-style-type: none"> ・衛生学・公衆衛生学 ・臨床医学各論Ⅱ ・関係法規・健康保険学 | ・自然科学Ⅳ |

② 柔道整復学科昼間部（午前コース）及び、柔道整復学科昼間部（午後コース）

| 学年 | 専門分野 | 専門基礎分野 | 基礎分野 |
|---|---|--|---|
| <p>1年次</p> <p>1年次は土台作りの年です。自然科学などの基礎分野から始まり、医学に関する基礎知識を解剖学・生理学などの専門基礎分野の座学を中心とした授業から習得していきます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎柔道整復学Ⅰ ・柔道整復実技Ⅰ ・柔道整復実技Ⅱ ・柔道整復実技Ⅲ ・臨床実習Ⅰ ・臨床実習Ⅱ | <ul style="list-style-type: none"> ・解剖学Ⅰ ・解剖学Ⅱ ・社会保険制度 ・生理学Ⅰ ・生理学Ⅱ | <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学Ⅰ ・自然科学Ⅱ ・自然科学Ⅲ ・自然科学Ⅳ |
| <p>2年次</p> <p>2年次は実習・実技も増え、内容もより実践的なものになっていきます。「臨床実習」は病院・クリニック・接骨院・機能訓練施設など、より実践的な環境で実施されます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・応用柔道整復実技Ⅰ ・応用柔道整復実技Ⅱ ・応用柔道整復実技Ⅲ ・基礎柔道整復学Ⅱ ・基礎柔道整復学Ⅲ ・基礎柔道整復学Ⅳ ・臨床実習Ⅲ ・臨床実習Ⅳ | <ul style="list-style-type: none"> ・運動学 ・病理学概論 ・外科学概論 ・整形外科学 ・衛生学・公衆衛生学 ・関係法規・職業倫理 ・保健体育Ⅰ | <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学Ⅰ※ ・人文科学Ⅱ※ ・社会科学※ <p>※印は通信過程による単位制</p> |
| <p>3年次</p> <p>3年次は「国家試験対策」も本格的に始まり、本番を想定した模擬試験を定期的実施し、学生一人ひとりの苦手分野や科目を細かく分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・臨床柔道整復学Ⅰ ・臨床柔道整復学Ⅱ ・臨床柔道整復学Ⅲ ・臨床柔道整復学Ⅳ ・臨床柔道整復学Ⅴ ・臨床柔道整復学Ⅵ | <ul style="list-style-type: none"> ・一般臨床医学 ・リハビリテーション医学 ・柔道整復術の適応 ・保健体育Ⅱ | |

| | | | |
|---|------------|--|--|
| 析します。また、卒業後働く上で必要な法知識も学び、卒業後に即戦力となる技術と知識を深めていきます。 | ・応用柔道整復実技Ⅳ | | |
|---|------------|--|--|

単位・成績評価の認定

- (1) 単位の認定については、授業方法、内容並びに年間授業計画及び評価基準をシラバスによりあらかじめ学生に明示し、講義・実習等に必要な出席数と当該科目の成績により認定する。
- (2) 単位及び成績評価の認定は、判定会議で審議し、学校長が決定する。
- (3) 成績評価は優・良・可・不可の標語をもって表し、優・良・可を合格とする。
- (4) 病気等やむを得ない理由により試験を受ける事が出来なかった者は追試験を、不合格のものに対しては再試験を行う。

成績評価

各期末に成績判定会議及び年度末に単位付与会議を実施したのち単位付与する。定期試験では正答率6割以上を合格とし、6割未満は再試験を実施して成績評価する。成績評価において評価点が100点中80点以上で「優」、70点以上80点未満で「良」、60点以上70点未満で「可」、60点未満で「不可」とする。

| 成績 | 評価 | 単位 |
|---------|----|-----|
| 80～100点 | 優 | 認定 |
| 70～79点 | 良 | |
| 60～69点 | 可 | |
| ～59点 | 不可 | 不認定 |

国家試験対策

本校は全員の国家試験合格を目指し、個人面談・補習講義・模擬試験などの独自の合格プログラムを実践しています。一人ひとりの苦手科目は早期に解決し、万全の状態での国家試験に挑みます。

- (1) 目標を見据えて早めの準備
 - ・基礎知識の早期対策
 - ・早い段階からの目標設定
- (2) 個人の学習方法と環境づくりをトータルサポート
 - ・個人面談
 - ・理解力の向上
- (3) きめ細かな独自の国家試験対策
 - ・補習講義
 - ・模擬試験
 - ・オリジナル予想問題を作成

- (4) 試験結果に応じた充実のフォロー体制
 - ・聴講生制度
- (5) 国家試験合格を確実にするためのサポート体制
 - ・入学前学習
 - ・チューター制

国家試験合格率 (令和8年3月卒業生の結果)

本校は全国平均を上回る国家試験合格率を維持しています。

| | はり師 | きゅう師 | 柔道整復師 |
|------|----------|----------|----------|
| 本 校 | 89.5 (%) | 89.5 (%) | 91.4 (%) |
| 全国平均 | 67.2 (%) | 70.5 (%) | 71.5 (%) |

教職員数(令和8年5月1日現在)

| | 専任 | 兼任 | 計 |
|-----|----|----|----|
| 教 員 | 16 | 10 | 26 |
| 職 員 | 5 | 1 | 6 |
| 計 | 21 | 11 | 32 |

研修制度

教育職員研修制度を設け、実務に関する研修・教育能力向上を目的とした研修を計画的に受講させ、資質の向上に努めている。

同窓会「広島朝日会」

本校には卒業生・教職員・学生(準会員)で組織する「広島朝日会」と称する同窓会がある。

本会は会員相互の研鑽や親睦を図ることを目的に、各種セミナー・親睦会等を開催している。

単位互換制度

(他の大学又は専門学校等における既修得単位の取り扱い)

本校では、教育上有益と認めるときは、学生が学校教育法に基づく大学又は他の医療関係職種の養成施設において既に履修した単位については免除することが出来る。

なお、基礎分野においては単位取得証明書をもって免除とし、専門基礎分野においては試験を実施し70点以上を合格とし、最終的には判定会議で審議し、学校長が決定する。

学校行事

スポーツ大会、学園祭、入学式、卒業式、謝恩会など

課外活動

- (1) クラブ活動：軟式野球部、朝日バーベルクラブ（ABC）、朝日サッカークラブ（ASC）、朝日バレーボールサークル（AVC）、バスケットボールサークル、柔道部、レクリエーションサークル、朝日ボランティア部、ヨガ&RUNサークル
- (2) ゼミ活動：美容鍼(JMCAA)ゼミ、美容鍼灸入門ゼミ、カウンセリングエステゼミ、ピラティスゼミ、スポーツアロマゼミ、手技療法ゼミ、鍼基礎研究ゼミ、栄養ゼミ
- (3) トレーナー活動：アサヒトレーナーチーム（ATT）

図書室

開室日：月曜日～金曜日(授業期間のみ)

休室日：土曜・日曜・祝日、年末年始等

開室時間：8時45分～17時45分

利用方法：自由に利用可、但し、本の貸し出しは1週間を限度とする

図書室設備の利用

コピー機：図書室に設置しています。自由に利用可(有料)

自習室

自習室として利用できる場所

- ・6F・7Fの自習室

各自習室の使用ルールに則って使用（各自習室に掲示）

クラス運営

学校生活をより一層有意義に送る事が出来るよう、クラスごとに担任、クラス委員を定めている。

(1) クラス担任

クラスの学生の学生生活に関する諸問題、特に勉学、健康、交友関係、経済状態、休学、退学等の身上に関する事、その他、一人ひとりのよき相談相手となり、適切な解決の道を見出すよう指導、助言を与える。

(2) クラス委員

クラス委員は、学生相互の意見や希望などを取りまとめ、また、学校からの連絡事項をクラス全体に伝えるなどの役割を果たす。

クラス委員を中心として、全員がクラス内の良好な人間関係、明るい雰囲気づくりを心掛け、快適な学生生活を送れるように協力する。

学友会

本会は「朝日医療専門学校広島校学友会」と称し、在校生全員で構成され、諸行事の主体的開催者となることや、同窓の学習、福利厚生、親睦等の円滑な推進を図ることを目的としている。

運営委員は原則としてクラス委員長（各クラスにおける代表者1名）で構成されている。

奨学金，教育ローン，学費サポート制度

学納金等の納付に係る支援として、各種奨学金や教育ローンの紹介を実施している。

- (1) 日本学生支援機構
- (2) 各市町村奨学金貸付制度
- (3) オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」
- (4) 日本政策金融公庫「教育ローン」

学費サポート制度として、本校独自の給付型奨学金制度や学費・入学金減免制度を実施している。

- (5) 内部生特典：給付型奨学金制度「Wライセンスサポート制度」
- (6) 学費減免制度「医療資格者サポート制度」
- (7) 入学金減免制度「家族割サポート制度」

就職・進学支援，卒後支援

学生部においてキャリア担当者を配置し、在校生の就職・進学を支援する。また、卒後サポートとしてスキルアップ等を目的に新たな就職先を希望する卒業生には『一般求人』を中心に就職相談を実施。

職業人としての心構え、履歴書の書き方、面接の受け方の指導、求人票の見方などのセミナーを実施。